

2019年2月号

一般社団法人
北海道歯科医師会
北海道歯科医師会HP <https://www.hokkaido-shikaishikai.com>

Hokkaido Dental Association "Doushikai Tsushin" D.NEWS

千歳 CHITOSE

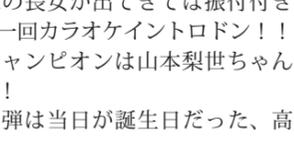
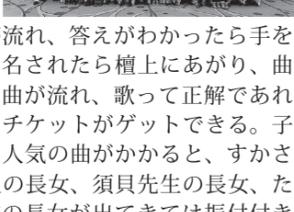
平成最後のクリスマスパーティー

日時：平成30年12月1日(土)
午後5時30分より
場所：ANAクラウンプラザホテル千歳
平成最後のファミリークリスマスパーティーが開催された。
今年は78名の会員、家族の方々が参加、杉江会長のご挨拶、新入会員の村上秀輔先生の挨拶、そして渡辺一史先生の乾杯でパーティーが始まった。

まず余興第一弾は、千歳歯科医師会バンドが解散し、新たに結成された恵庭市歯科医師会バンドによる素晴らしい演奏と会員による歌のセッションで盛り上がった。

余興第二弾は、第一回カラオケイントロドン!! ルールは、イントロが流れ、答えがわかったら手をあげて、指名されたら壇上にあがり、曲名を言う。曲が流れ、歌って正解であればドリームチケットがゲットできる。子どもたちに人気の曲がかかると、すかさず坂本先生の長女、須貝先生の長女、たまに山本家の長女が出てきては振付付きで歌い、第一回カラオケイントロドン!! グランドチャンピオンは山本梨世ちゃんに決定した!

余興第三弾は当日が誕生日だった、高



津三奈さんをサプライズお祝い。
余興第四弾はお待ちかねのビンゴゲーム大会。今回の景品は大規模震災の後ということもあり、防災グッズや食品詰め合わせセット、果物セットが中心だった。ぞくぞくとビンゴしていく中、なかなかビンゴできない5人が前に呼ばれ恒例になりつつあるデスソースロシアルーレットで見事引き当てた山本先生が防災グッズ詰め合わせリュックを獲得した。
最後は佐竹先生のメの挨拶で楽しい平成最後のクリスマスパーティーは幕を閉じた。(山本孝之記)

千歳会主催地域医療講習会
日時：平成30年12月19日(水)
午後7時より
場所：エニケンビル 3F 会議室
演題：「オーラルフレイルと口腔機能低下症」
演者：北大大学院歯学研究院

高年齢歯科学教室 山崎 裕 教授
「オーラルフレイル」、最近良く耳にする言葉である。が、いまいちはっきりした意味がぼやっとしかわからなかったが、

今回、歯科疾患管理料の加算点数として保険点数の算定ができるようになった「口腔機能低下症」と関連づけて、とてもわかりやすく講演していただき、ぼやっとした靄靄が少し晴れた気がする。そもそも「フレイル」とは何か。2014年に日本老年医学会が提唱した概念で「加齢によって心身の機能が衰え虚弱になった状態」を言うそうで、その特徴として①健康と要介護状態の中間の

状態 ②可逆性で適正な対応をすれば機能を改善させることができる一が挙げられる。以前、高齢者はコレステロールが高くなるように肉より魚の方が体に良いとされていたが、現在は65歳まではメタボ対策、65歳以上は低栄養対策として積極的に肉を摂るべきという方向性になってきているようだ。

この「フレイル」の原因としては身体的な体重減少や筋力低下だけではなく、社会との関係、つながりが減ってきたり、全くなくなってきたりして精神的孤立なども虚弱の一因とも言われていて、ボランティア活動などで社会参加することが「フレイル」の予防の1つの柱にもなっているようで、おそらく「おいしい物をおいしく食べて、よく運動して働けるうちは働き、人とのつながりを持って」と言うことなのであろうか。

さて、「オーラルフレイル」とは。「フレイル」の「オーラル」版と言うことであらうか。

「歯と口の機能が虚弱になること」、「フレイルの前段階としてオーラルフレイル(プレフレイル)を位置づけされている」とのことです。「オーラルフレイル」の対策が全身的な「フレイル」の予防につながるかと考えられている。

「オーラルフレイル」の徴候として挙げられているのが、①食べ物をこぼす ②軽いむせ ③うまく呑み込めない ④滑舌が悪い一などが挙げられ、生活の質を低下させ、死亡率が高くなる統計を示された。

この最初の軽微な徴候を見逃し、さらに進行すると「口腔機能低下症」へと進行し、全身への衰えとつながっていくようだ。

この部分が我々歯科医師が対応していかなければならない領域で、今回の保険点数の導入された部分である。

この「口腔機能低下症」の診断項目は

- ①腔機能低下状態の不良 ②口腔乾燥 ③咬合力低下 ④舌、口唇運動機能低下 ⑤咬合圧低下 ⑥咀嚼機能低下 ⑦嚥下機能低下の一の7つの項目からなり、7項目中3項目が該当すれば「口腔機能低下症」と診断される。

表された。

最後は、「清潔感あふれる歯科医院を目指して」と題して、北海道医療大学歯学部

の齊藤正人 教授より、患者視線では、①口をすすぐ水回り(シンク)とコップ

②エプロンやタオル ③グローブの使い回し等に目がいくようである。複数の患者を一人で同時進行で診療する場合、患者はグローブを交換しているか気にしているので特に注意が必要だと思われる。また、ユニット周りが血液で汚染した場合は、次亜塩素酸(0.1~0.5%)で清拭するべきであり、市販のハイターと同じ成分なので、

薄めて用いれば安価で十分に効果を発揮する。印象採得後の印象体も120秒間、0.1~1.0%次亜塩素酸溶液(ハイター)に浸漬後十分に水洗ししてくださいとのことであった。

各先生方のスライドが興味深くできっており、話し方も参加者に分かりやすい内容で今後の自院での診療に役立てる内容であった。(川村曜補記)

薄めて用いれば安価で十分に効果を発揮する。印象採得後の印象体も120秒間、0.1~1.0%次亜塩素酸溶液(ハイター)に浸漬後十分に水洗ししてくださいとのことであった。

各先生方のスライドが興味深くできっており、話し方も参加者に分かりやすい内容で今後の自院での診療に役立てる内容であった。(川村曜補記)

薄めて用いれば安価で十分に効果を発揮する。印象採得後の印象体も120秒間、0.1~1.0%次亜塩素酸溶液(ハイター)に浸漬後十分に水洗ししてくださいとのことであった。

各先生方のスライドが興味深くできおり、話し方も参加者に分かりやすい内容で今後の自院での診療に役立てる内容であった。(川村曜補記)

薄めて用いれば安価で十分に効果を発揮する。印象採得後の印象体も120秒間、0.1~1.0%次亜塩素酸溶液(ハイター)に浸漬後十分に水洗ししてくださいとのことであった。

各先生方のスライドが興味深くできおり、話し方も参加者に分かりやすい内容で今後の自院での診療に役立てる内容であった。(川村曜補記)

薄めて用いれば安価で十分に効果を発揮する。印象採得後の印象体も120秒間、0.1~1.0%次亜塩素酸溶液(ハイター)に浸漬後十分に水洗ししてくださいとのことであった。

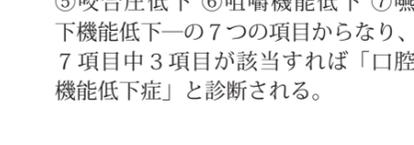
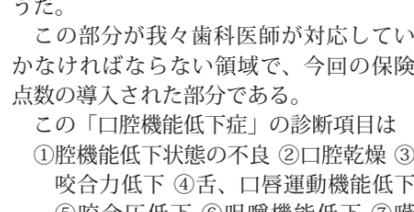
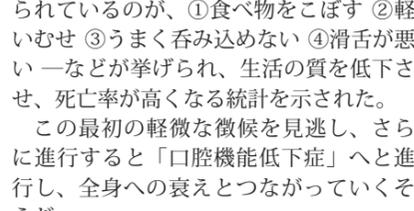
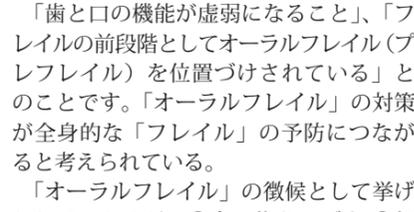
各先生方のスライドが興味深くできおり、話し方も参加者に分かりやすい内容で今後の自院での診療に役立てる内容であった。(川村曜補記)

このような衰えを少しでも改善する方法として
①歯ブラシの他に舌清掃器を使用 ②小唾液腺、口腔粘膜のマッサージーラディアドコキネシス ④ペコぱんだの使用一
などを行い機能改善をしていく。
我々歯科医師は、むし歯、歯槽膿漏、義歯等々、目に見える状態だけでなく、その周辺症状である機能低下にも目を向けて対応していかなければいけない現況になってきていると思いを深めるとても有意義な講演だった。(高津良二記)

恵庭市および恵庭市歯科医師会親睦会
日時：平成30年12月11日(火)
午後6時30分より
場所：「漁川」
恵庭市歯科医師会理事と恵庭市の保健福祉などで交流のある方々との親睦会があり、私は初めて参加させていただいた。恵庭市歯科医師会と恵庭市の職員の方合わせて22人の参加だった。はじめに恵庭市長と平中会長による挨拶。乾杯の音頭は恵庭市教育長がとり、乾杯。

はじめは市の役所職員のため緊張したが、皆さん気さくな方ばかりで楽しくお食事談話。途中それぞれ自己紹介タイムでさらに場は和んだ。
最後にお開きの乾杯を杉江先生が行なった。
恵庭市歯科医師会と恵庭市の連携が密になり、これからの恵庭市の未来が明るくなるような親睦会だった。(山本孝之記)

恵庭市歯科医師会理事と恵庭市の保健福祉などで交流のある方々との親睦会があり、私は初めて参加させていただいた。恵庭市歯科医師会と恵庭市の職員の方合わせて22人の参加だった。はじめに恵庭市長と平中会長による挨拶。乾杯の音頭は恵庭市教育長がとり、乾杯。



函館 HAKODATE

北海道歯科医師会主催 「歯科医療安全管理体制推進特別事業・ 歯科診療所における院内感染防止対策 セミナー」

日時：平成30年12月9日(日)
午後1時30分より
場所：函館歯科医師会館 2F 第一講堂
標記セミナーが会員・スタッフ46名の参加で開催された。

講演1では「歯科診療所に必要な感染対策について」と題して、北海道医療大学歯学部の永易裕樹 教授よりスタンダードプリコーションの概念について講演いただいた。

講演2では「診療器具の滅菌と暴露について」と題して、北海道大学大学院歯

学研究院・口腔病態学分野口腔診断内科学教室の佐藤 淳 講師より株式会社モリタでのタービン使用時の汚染の飛散実験でどれだけ広範囲に汚染されるのかわかるスライドや感染は実際では目では見えないが、手で触れる感染部分を着色してどのくらい広範囲に感染されるのかが色付きでわかる動画を見せていただいた。

針刺しリスクはB型肝炎ウイルスがC型やHIVより最も強く増加傾向にあり、環境表面、例えば印象材由来で石膏模型に付着した凝固血液でも乾燥した室温で1週間以上生存できる、という報告には驚いた。また、もしHBV陽性患者で針刺し事故が起きたら、流水で損傷・暴露部位をよく洗い、抗HBsヒト免疫グロブリンのワクチンを遅くとも48時間以内に投与すればHBV感染を90%予防できる、との解説であった。器具をオートクレーブで滅菌する前に洗浄をしっかりと、血液等をしかり洗い流すことが大事だと発

表された。

最後は、「清潔感あふれる歯科医院を目指して」と題して、北海道医療大学歯学部

の齊藤正人 教授より、患者視線では、①口をすすぐ水回り(シンク)とコップ

②エプロンやタオル ③グローブの使い回し等に目がいくようである。複数の患者を一人で同時進行で診療する場合、患者はグローブを交換しているか気にしているので特に注意が必要だと思われる。また、ユニット周りが血液で汚染した場合は、次亜塩素酸(0.1~0.5%)で清拭するべきであり、市販のハイターと同じ成分なので、

薄めて用いれば安価で十分に効果を発揮する。印象採得後の印象体も120秒間、0.1~1.0%次亜塩素酸溶液(ハイター)に浸漬後十分に水洗ししてくださいとのことであった。

各先生方のスライドが興味深くできおり、話し方も参加者に分かりやすい内容で今後の自院での診療に役立てる内容であった。(川村曜補記)

薄めて用いれば安価で十分に効果を発揮する。印象採得後の印象体も120秒間、0.1~1.0%次亜塩素酸溶液(ハイター)に浸漬後十分に水洗ししてくださいとのことであった。

各先生方のスライドが興味深くできおり、話し方も参加者に分かりやすい内容で今後の自院での診療に役立てる内容であった。(川村曜補記)

薄めて用いれば安価で十分に効果を発揮する。印象採得後の印象体も120秒間、0.1~1.0%次亜塩素酸溶液(ハイター)に浸漬後十分に水洗ししてくださいとのことであった。

各先生方のスライドが興味深くできおり、話し方も参加者に分かりやすい内容で今後の自院での診療に役立てる内容であった。(川村曜補記)

薄めて用いれば安価で十分に効果を発揮する。印象採得後の印象体も120秒間、0.1~1.0%次亜塩素酸溶液(ハイター)に浸漬後十分に水洗ししてくださいとのことであった。

各先生方のスライドが興味深くできおり、話し方も参加者に分かりやすい内容で今後の自院での診療に役立てる内容であった。(川村曜補記)

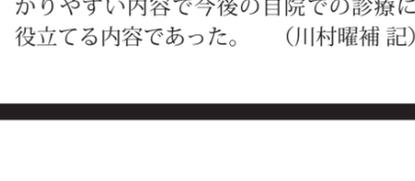
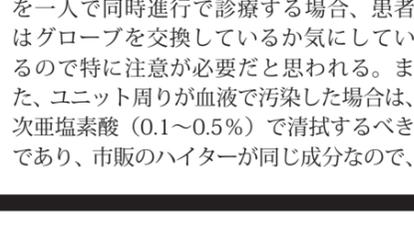
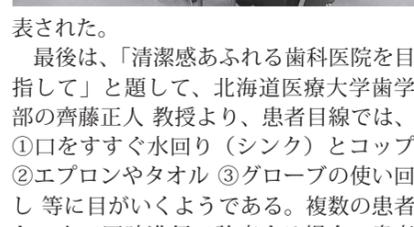
薄めて用いれば安価で十分に効果を発揮する。印象採得後の印象体も120秒間、0.1~1.0%次亜塩素酸溶液(ハイター)に浸漬後十分に水洗ししてくださいとのことであった。

各先生方のスライドが興味深くできおり、話し方も参加者に分かりやすい内容で今後の自院での診療に役立てる内容であった。(川村曜補記)

薄めて用いれば安価で十分に効果を発揮する。印象採得後の印象体も120秒間、0.1~1.0%次亜塩素酸溶液(ハイター)に浸漬後十分に水洗ししてくださいとのことであった。

各先生方のスライドが興味深くできおり、話し方も参加者に分かりやすい内容で今後の自院での診療に役立てる内容であった。(川村曜補記)

薄めて用いれば安価で十分に効果を発揮する。印象採得後の印象体も120秒間、0.1~1.0%次亜塩素酸溶液(ハイター)に浸漬後十分に水洗ししてくださいとのことであった。



札幌

SAPPORO

口腔医療センター
平成30年度第1回所員・担当医研修会
日時：平成30年11月9日(金)
午後7時より

場所：札幌第一ホテル
「診療報酬改定で新設された小児口腔機能管理加算について」という演題で北海道大学大学院歯学研究院 八若保孝 教授に講演いただいた。

平成30年診療報酬改定が行われ、「ライフステージに応じた口腔機能管理」



という概念が打ち出され、口腔機能発達不全症の病名のもと、これに伴う保険点数が算定できるようになった。

口腔機能発達不全症の病態は、「食べる機能」「話す機能」その他の機能が十分に発達していないか、正常に機能獲得ができておらず、明らかな摂食機能障害の原因疾患がなく、口腔機能の定型発達において個人因子あるいは環境因子に専門的関与が必要な状態。病状は、咀嚼や嚥下がうまくできない、構音の異常、口呼吸などが認められる。患者には自覚症状があまりない場合が多い。診断基準はチェックシート注1の項目C-1～C-12のうち2つ以上に該当するものを「口腔機能発達不全症」と診断する。

講演ではC-1：歯の萌出に遅れがある、からC-17：その他、Riga - Fede病など、また、筋機能療法(MFT)まで診断、指導・管理の内容を詳細に教授いただいた。

最後に口腔医療センター 諸留 裕 所長が「このような指導・管理は子育てに直接関わるとともに、コミュニケーションの構築に寄与する。この様な視点で患者さんを診察することは、我々の視野も広げて正確な診断をすることにつながる」

と挨拶され講演終了となった。
(中井英仁 記)

広報委員会研修会
日時：平成30年11月16日(金)
午後7時30分より

場所：札幌第一ホテル

HBCアナウンサー 鎌田 強 氏をお迎えして、「外郎売の台詞300年 滑舌練習のための歌舞伎の言い立て」という演題で講演いただいた。

喋りのプロであるアナウンサーの方々も、スポーツの前に準備運動をするのと同じように、長い人では毎日30分ほどかけて発声・滑舌練習を行うとのことで、①様々な言葉をよどみなく言う ②言葉を聞き取りやすくする ③早口言葉に代表されるような遊びを目的に行われ、今なおアナウンサーや演劇界で滑



舌練習の教材として用いられており、本講演の演題にもなっている「外郎(ういろう)売の台詞」だった。

これは二代目 市川團十郎が、1718年に自作し初演した歌舞伎の中に登場する、外郎売の口上の中で、外郎とは今から600年ほど前に日本に入ってきて、現存する日本最古の売薬のことで、その3,000字にのぼる口上の中では、当時の流行も取り入れながら外郎という薬の概要・効能・購入の勧めを述べている。

言葉を扱うアナウンサーは、単にアナウンス力の向上を目指すだけではなく、その言葉の成り立ちから変遷までも勉強なさっていることに大変驚いた。

講演会の最後には、鎌田氏自ら外郎売の口上を述べてくださった。台詞を目で追うだけでも困難な言い回しが続くなか、一度も言いよどむことなく、感情のこもったその素敵なお声で述べられた口上には、ただただ聞き入るばかりだった。

我々も日々患者と話す機会が多いため、滑舌の良い話し方の習得は、患者へ会話内容の理解を促し、お互いが納得した治療を進める上で必要なことだと認識できた講演会となった。
(吉田安宏 記)

釧路

KUSHIRO

平成30年度 道歯主催 医療管理講習会(釧路)

日時：平成30年12月1日(土)
午後3時から午後5時

場所：釧路会館



道歯の大橋 常務理事が座長を務め、森本理事による司会のもと、あお葉法律事務所 伊藤絢子 弁護士と山下史生法律事務所 山下史生 弁護士に講演いただいた。



伊藤絢子 弁護士からは「労務管理、こんな時はどうするの？」の演題でスタッフを採用する上で面接時の注意事項、労働条件の明示、労働時間管理、年次有給休暇、有期労働契約の無期労働契約への転換、労働組合との団体交渉について詳しく説明があった。特にスタッフが個人で加入できる労働組

合が存在し、そのような団体から問合せがあった場合は誠実交渉義務が発生することは驚きであった。

また、山下史生 弁護士からは「歯科医師が謝る時、謝ってはいけない時」の演題で診療室にて実際に起きた医療事故の具体的なケースの説明があった。転医先の治療費を支払うことは有責を認めることになり、トラブルや医療事故が起きた場合でも治療費はもらう必要がある等、毅然とした対応が必要になる。事故発生時は不愉快な気持ちにさせたことは丁寧な謝っても治療の内容については誤解が生じないように軽率な態度は慎むべきで、一人で抱え込むのではなく地元歯科医師会や北海道歯科医師会、損害保険ジャパン等の保険会社に報告・相談することが解決への近道になる。
(石本大輔 記)

スポーツ歯科に係る研修会
日時：平成30年12月9日(日)
午前10時より

場所：釧路会館 大講堂

第74回国民体育大会冬季大会が平成31年1月30日(水)～2月3日(日)に開催される。釧路市ではスケート部門が開催され、「歯科医師が大会にどのように係わるか」に関して講演会が開催された。

講演1として河野崇志 道歯会常務理事・学術委員会小委員会委員長(スポーツ歯科)が作成した『第74回冬季国体へ

の協力体制の構築について』のDVDを視聴した。

講演2として『スポーツ歯科普及活動の現状と未来～スポーツ大会への協力を通じて～』との演題で日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト・東京オリンピック・パラリンピック歯科委員会 委員・道歯会副会長 西 隆一 先生に講演いただいた。

平成23年にスポーツ基本法が制定され、スポーツデンティストの養成が始り、現在全国に135名(道内には5名)のスポーツデンティストが輩出されているそうである。講演ではスポーツ歯学の基本的なことから現在のスポーツ歯学に関して詳細に説明いただいた。
(粟野俊哉 記)



12月三木会(忘年会)
日時：平成30年12月20日(木)

午後7時より
場所：炉端 八(はち)

一年を締めくくると三木会(忘年会)が行われた。鹿野理事の司会のもと、中谷会長の挨拶と乾杯の発声で会が始まった。



鍋を囲み、今年一年世話になった先生に挨拶をし、来年の抱負を同僚達と語り合っていた。ビンゴゲームでは1等賞を坂野先生がゲット。しっかり今年を締め上げていた。なごやかに2時間が過ぎ、締め乾杯を坂野先生が行ない終了した。30名出席した。
(粟野俊哉 記)



小樽

OTARU

第3回歯科衛生士リカバリー研修会
日時：平成30年12月2日(日)
午前10時より

場所：小樽歯科衛生士専門学校
標記研修会が行われた。今回の受講者は昨年の2名から大幅増の9名となった。最初はスライドを使って講義を行ない、



その後、歯牙模型を使用してのCR充填、超音波スケーラーとキュレットスケーラーを使用しての相互実習等を行なった。

多くの方が長く現場を離れていて復帰に不安を感じられており、この講義が不

安解消と現場復帰に役立ったと感想を述べられていた。
(山口大樹 記)

平成30年度周術期研修会
日時：平成30年12月18日(火)
午後7時より

場所：小樽市歯科医師会館
市村樽歯会会長の挨拶の後、エピシロ口腔用液についての説明が行われた。

その後、社会保険常任委員会理事の平井 晃 先生から周術期についての考え方や算定要件等について分かりやすく説明が行われた。さらに中川靖子 先生から周



術期における医科との連携方法等についての説明が行われた。

診療終了後にもかかわらず15名の会員が参加され、活発な質疑応答が行われ盛況のうちに終了した。
(山口大樹 記)

北見

KITAMI

平成30年北見歯科医師団忘年会
日時：平成30年12月1日(土)

場所：ホテル黒部
今年も標記忘年会がホテル黒部で行われた。



飯田団長の挨拶で始まり、金山会長、船橋・塚本両道議、辻 市長、門脇北海

道歯科衛生士会オホーツク支部長、武部衆院議員と豪華な顔ぶれの挨拶となった。

今年の忘年会は、新企画「この人は誰でしょう？」というクイズの余興があり、事前に参加者の個人情報アンケート調査し、誰かを当てる企画で大変盛り上がった。

その後は、恒例の麻雀大会の結果発表に表彰、豪華海産物が当たるビンゴ大会と例年になく盛況のうちに終了し、二次

会へと流れていった。
忘年会準備等、団役員の先生方、お疲れ様でした。
(藤井 大 記)



十勝

TOKACHI

学術講演会

日時：平成30年11月24日(土)
午後3時から午後5時
場所：十勝会館 2F 講堂



本年度から新しく保険病名として認められた「口腔機能低下症」について、その保険収載に第一人者として関わっていらした、日本老年歯科医学会の前理事長で東京歯科大学老年歯科補綴学講座 教授の櫻井 薫 先生をお招きして「新病名、口腔機能低下症の診断と対応」という演題で講演いただいた。

休日に挟まれた土曜日で参加者はやや少なかったが、保険収載に至る経過や厚生労働省とのやりとりを交えながらの講演で、その道の第一人者からのお話を聞

くことができ大変有意義な講演会であった。(斎藤恒夫 記)

十勝会野球部納会

日時：平成30年11月28日(水)
午後7時30分より
場所：美珍楼 本店

十勝会野球部納会が行われ、第69回北海道歯科医師野球大会(函館開催)では、



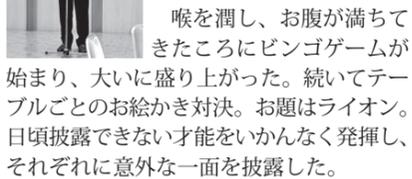
AおよびBチームともに予選敗退。道大会3連覇のかかったAチームは、北見A、岩見沢Aにまさかの2連敗。大滝会長より「こんなシーズンもある。来年頑張りましょう！」の挨拶に始まり、河合篤史 部長が「来シーズンはAチーム、Bチームまずは予選突破！」と宣言。杉田 仁 先生の「皆さん、目標へ向けて頑張ろう！」の乾杯で納会がスタート。

部員たちは今シーズンの反省点を振り返るとともに、来期に対する意気込みを熱く語り合い大いに盛り上がった。最後は有田修造 先生の「来年も怪我なく野球

を楽しもう！」の言葉で会は締めくくられ、来シーズンでの活躍を強く胸に誓った十勝野球部員一同であった。(板橋基雅 記)



師走を明日に控え、積雪はなかったが凍てつく風の中、平成最後の忘年会が行われた。



大滝会長、船津幹事長の挨拶後、白石二美子 先生の乾杯で節度ある無礼講でスローガンに始まった。喉を潤し、お腹が満ちてきたところにビンゴゲームが始まり、大いに盛り上がった。続いてテーブルごとのお絵かき対決。お題はライオン。日頃披露できない才能をいかんなく発揮し、それぞれに意外な一面を披露した。

十勝歯科医師会写真同好会(TDPC)忘年会

日時：平成30年12月5日(水)
午後7時30分より
場所：タイ料理・中国料理「潮華」

今年の締め括りとなるTDPC忘年会が13名の会員出席のもと、盛大に行われた。幹事長の市之川一成 先生にご挨拶をいただいた後、一昨年のTDPC野遊会でお世話になった吉村先生のご発声による乾杯で開宴となった。

美味しい料理をいただきながら体に程よくアルコールが回ったところで、各々が持参したメディアや資料の発表会となり、趣味や旅行の写真、保険診療の話題や労務管理、セキュリティ対策の裏話まで飛び出して大いに盛り上がり、気がつけば3時間を超える宴会となり、年末の楽しいひと時を過ごした。(南館直人 記)



室蘭

MURORAN

平成30年合同祝賀会

日時：平成30年11月17日(土)
午後6時30分より
場所：ホテルサンルート室蘭



平成30年 室蘭歯科医師会

平成30年に様々な功労賞、お祝いを受けた先生方の合同祝賀会が開催された。19名の被表彰者のうち9名の被表彰者がお越しください、多くの会員の先生がお祝いのため出席した。飯淵副会長の開会の辞で始まり、仲川会長から記念品が一人ずつ被表彰者に手渡され、被表彰者を代表して水野文晴 先生から謝辞をいただいた。参加者は大きな拍手でお祝いを伝えていた。



ピアノの生演奏が流れる中、受賞された先生方の労をねぎらうべく、参加した先生方はお祝いの声をかけていた。塚田副会長の閉会の辞で会は終了した。(島山雄一 記)

平成30年被表彰者(順不同敬称略)
◎室蘭市功労者表彰(公益功労)

- 水野文晴 先生
- ◎登別市功労者表彰(教育功労)
- 江端憲一 先生
- 野村和司 先生
- 野村慶子 先生
- ◎日本学校歯科医会会長表彰
- 石井俊隆 先生
- ◎北海道学校保健功労者表彰
- 後藤邦彦 先生
- 工藤逸朗 先生
- ◎室蘭市教育長表彰動続15年
- 吉成純一 先生
- ◎登別市社会貢献表彰
- 工藤善史 先生
- 日置 圭 先生
- 宮武忠司 先生
- ◎平成30年度北海道学校歯科保健優良校表彰

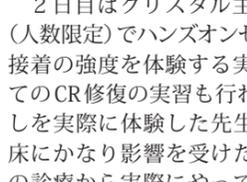
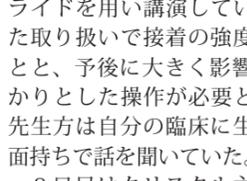
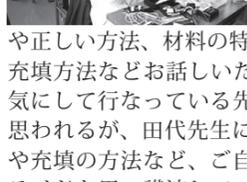
- 優秀賞 登別市立登別小学校
- ◎寿会員
- 傘寿 堅田 進 先生
- 喜寿 合田 功 先生
- 古希 早川邦雄 先生
- 畔田 貢 先生
- 高橋恒夫 先生
- 関 有三 先生
- 首藤 光 先生
- 杉山博史 先生

学術部講演会「臨床力UPセミナー」

日時：平成30年11月17日(土)
午後3時より
18日(日)午前9時より

場所：室蘭会館 斎藤記念講堂

標記日程で学術部講演会が開催された。このセミナーは以前行われたGoAのセミナーに継ぐ「臨床力UPセミナー」で講師に静岡県浜松市にて開業されている田代浩史 先生をお招きした。今回は1日目に「コンポジットレジン：新たな臨床解釈」



と題した講演が行われ、2日目には室蘭会のスタディグループである「クリスタル」が主催するハンズオンセミナーが行われた。1日目の講演会には室蘭会員はもちろん若手会員の先生方にも参加していただいた。普段毎日のように臨床で行なっているCR修復であるが、接着の概念や正しい方法、材料の特性、CRの選択や充填方法などお話しいただいた。あまり気にして行なっている先生は多くないと思われるが、田代先生にはこれらの解説や充填の方法など、ご自身の臨床からスライドを用い講演していただいた。誤った取り扱いで接着の強度は落ちていくことと、予後に大きく影響がでるためしっかりとした操作が必要となり、参加した先生方は自分の臨床に生かそうと真剣な面持ちで話を聞いていた。

2日目はクリスタル主催で希望者のみ(人数限定)でハンズオンセミナーが行われ、接着の強度を体験する実習や模型を用いたCR修復の実習も行われた。前日の話しを実際に体験した先生方は、実際の臨床にかなり影響を受けたようで、次の日の診療から実際にやってみたと先生方はその効果に驚いていた。

平成31年2月に田代先生には再度来蘭

していただき、講演とハンズオンセミナーをしていただくこととなっている。(島山雄一 記)

室蘭野球部納会

日時：平成30年12月1日(土)
午後6時より
場所：室蘭市中島町 もつ鍋饗膳

平成30年の室蘭野球部の活動を振り返り、労をねぎらう納会が標記日程で行われた。

函館大会では、Aチーム、Bチームの2チームで大会に臨む予定であったが、参加人数の調整がつかず1チームの参加となった。Bゾーンの予選リーグでは1勝1敗となり惜しくも準決勝に進むことができなかったが、好プレー、珍プレーが続出し、楽しく思い出の残る大会となった。

納会では今大会を振り返り、プレー内容や懇親会での話など大いに盛り上がった。特に夜の野球大会?でも今大会は盛り上がり、その楽しい話でさらに納会は盛り上がった。

来年の野球部の体制や活動内容なども話し合われ、次回札幌大会に参加していただく期待の新入会員の先生も納会に出席していただいた。また、室蘭会野球部の中心選手である多田和央 先生には80歳までキャッチャーとして頑張してほしいとの声もあがった。

次回大会では今大会の成績を上回ることはもちろん、楽しい野球大会になるように意気込み新たに多田和央 先生の乾杯で宴を終了した。(穴戸秀徳 記)



後志

SHIRIBESHI

平成30年度 ボウリング部 12月月例会

日時：平成30年12月11日(火)
午後8時~午後9時30分

場所：ファミリーボウル岩内

優勝 土方、準優勝 青山、1位 伊藤、2位 井筒、3位 長澤、4位 土方(妻)、5位 黒田、6位 中村、BB 島田、BM 山田

平成30年最後の12月大会。賞品は貝類詰め合わせ(アワビ、ホタテ、牡蠣、ホッキ、ツブ、白貝)、林檎、サーモン切り身といった海鮮が主となった。



優勝は土方先生。ハンディキャップを有意義に使用したようだ(笑)。今回は1月月例会大会となる。賞品よろしくお祈りします。(伊藤 純記)

	①	②	③	HDCP
優勝	土方	197	227	187 50→43
準優勝	青山	182	202	182 30→31
1位	伊藤	183	200	182 32→34
2位	井筒	191	208	218 58→50

3位	長澤	200	191	189	27→27
4位	土方(妻)	170	187	198	58→58
5位	黒田	179	192	181	37→39
6位	中村	179	171	180	36→42
7位	島田	190	171	169	75→77
8位	山田	164	153	158	47→59

HDCPは先月までの平均Aveと今回のAveとで平均Aveを出し200からの80%で算出している。

第二回後志歯科医師会学術講演会

日時：平成30年12月14日(金)
午後7時30分より

場所：倶知安町 ホテル第一会館

北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系 歯周歯肉内治療学分野 教授 古市保志 先生をお迎えし、「歯周病ケアが大切な



わけ」と題して標記講演会が開催された。当日はあいにくの雪の中ではあったが、21名の参加があり、歯周病と糖尿病との関係や歯周外科、特にリグロスの最新の知見について解説していただいた。

歯周外科は敷居が高いとしても、しっかりとした初期治療の重要性をあらためて認識した講演会となった。

(高野秀喜 記)

旭川

ASAHIKAWA

旭川薬剤師会との親善ボウリング大会
日時：平成30年11月24日(土)
午後6時より
場所：ディノスポウル旭川
旭川にて旭川薬剤師会との親善ボウリング大会を行なった。歯科医師会、薬剤師会あわせて27名の参加者は和気あ

いとプレーを行い、プレー終了後場所を移して、表彰式・懇親会にて薬剤師会との親睦を図った。
旭歯会 三戸会長、旭川薬剤師会 嵯城会長ともに参加していただき、今後、薬剤師会との連携をより深める有意義な会となった。(高垣謙二 記)



岩見沢

IWAMIZAWA

表彰者披露式典&忘年会
日時：平成30年12月7日(金)
午後7時より
場所：岩見沢 平安閣

一般社団法人 岩見沢歯科医師会 平成30年度 表彰者披露式典・忘年会



平成最後の年、次の方々表彰された。岩見沢教育振興表彰に青野茂俊 先生、北海道学校保健功労者表彰に竹内友康 先生、川野正裕 先生、旗手一永 先生。栗山町学校保健功労者表彰に南川 隆 先生、高橋克弥 先生、西村 仁 先生。由仁町学校保健功労者表彰に清水 学 先生。倉増会長より表彰者が披露され、記念品贈呈が行われた。
青野先生から「これからも児童生徒の健康のためにも、そして市民の方の健康

ためにも努力をつづけていきたい」と表彰者を代表して謝辞があった。その後、岩歯忘年会が行われ、村木 中 道議会議員など多くのご来賓の方々からお言葉をいただき、今後の歯科界の重要性についてもお話しいただいた。
今年の岩歯の活動の足跡として主に野球大会の動画が流され、会員の一年間の労をお互いに食事とお酒でねぎらった。そして毎年恒例のビンゴ大会を行う予定だったが、ビンゴカードがないという大きなハプニングがあり、急遽くじ引きでの抽選会となったが大いに盛り上がった。(本間啓史 記)

第7回理事会
日時：平成30年12月18日(火)
午後7時30分より
場所：レストランコロナ本店
毎年12月の理事会は通常通りの会議終了後に忘年会を行なっている。
今回は特別に、梶谷律子さん(当会事務局)の誕生会もサプライズで行なった。梶谷さんは年明けに人生の大きな節目である〇〇歳の誕生日を迎える。谷本副会長の理事会閉会の挨拶の際にバースデーケーキが登場し、当会を25年の長きに亘り支えていただいた感謝の言葉を添え、全員でハッピーバースデーを唄い、ろうそくの火が吹き消されると同時に乾杯した。さらに理事者から寄付を集めて購入した



記念品の「プリザーブドフラワー」が倉増会長から贈呈され、出席者全員で記念写真を撮った。梶谷さんは最初驚き、何度かハンカチで目を拭いたあと、とても良い笑顔で歓談していた。

当会の理事会は普段、遠方の理事の負担にならないよう、ネット会議「ZOOM」を用いて行なっている。理事の先生には、大雪の中を駆けつけていただき、おまけにカンパまでしていただいて大変申し訳ないと思いつつも、総務部会で数か月前から温めていた企画に梶谷さんが喜んでいただけて良かったと思った。(久恒泰宏 記)

平成30年度「高齢者の歯のコンクール」表彰式
日時：平成31年1月8日(火)
午後12時30分より
場所：空知総合振興局 2F 局長室
北海道「高齢者の歯のコンクール」で優秀賞を受賞された、美唄市の橋本綾子



さん、岩見沢市の吉田廣志さんの美歯会・岩歯会 合同表彰式を空知総合振興局にて行なった。お二人には空知総合振興局 佐々木誠也 局長から北海道知事賞が、美唄歯科医師会 孫 会長と岩見沢歯科医師会 倉増会長からは北海道歯科医師会会長賞の記念品が、それぞれ贈られた。3代表からの祝辞と記念撮影のあと、懇談の場が設けられ、秘訣を尋ねられた吉田さんは、「若いころ小魚を食べる機会が多かったことが良かったのではないかと。この年になってくるとあまり趣味がなく、食べることが生きがいになる。美味しいものを美味しく食べられるために歯は大事だと思い、手入れに努めている」と述べられ、一同大きく頷いた。
美歯会の孫 会長は、歯の健康が長生きに結び付く証明として広く紹介したいと述べた。(久恒泰宏 記)

苫小牧

TOMAKOMAI

在宅療養支援サポート研修会
日時：平成30年11月30日(金)
午後7時30分より
場所：苫小牧市民会館 2階 205号室

平成30年度北海道在宅医療連携推進事業として標記研修会が執り行われた。北海道医療大学リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科 教授の木下憲治先生をお招きし、「臨床に役立つ咀嚼・嚥下サポートの実際」という演題にて講演いただいた。
日本の高齢化率は凄まじく、総人口が

昨年に比較して27万人減少しているのに対し、65歳以上の高齢者は44万人も増加している。総人口に占める高齢者人口の割合も28.3%、とりわけ女性では31%と、もはや約3人に1人は高齢者ということになる。認知症患者数も年々増加の一途をたどり、2015年の発表によると高齢者の約7人に1人と推計されており、さらに2025年になると団塊世代が75歳以上となり、高齢者5人に1人が認知症患者と見込まれている。
このことから、あと数年のうちに3人に1人が高齢者、その高齢者5人のうち1人が認知症、つまり1日の来院患者数が15人だとすると、そのうち1人は認知症という計算になる。認知症がごく身近な疾患となり、我々歯科医師も少なから

ず認知症に関する知識を身につけておく必要がある。
今回の講演では認知症患者の特徴や誤嚥について、実際の診療時に起こりうる状況と合わせてご教示いただいた。特に印象的だったのは認知症患者の手の届くところに義歯を置いておくと、食べ物と誤って飲み込んでしまうことがあるということ。薬の包装フィルムくらいであれば理解できるが、多数歯欠損の大きな義歯でさえも飲み込んでしまうとは思ってもよらなかった。
人生100年時代と言われている昨今、歯科医療を提供しなくてはならない我々にとっては、なかなかリスクな時代に突入しているのではないかと考えさせられる研修会であった。(関 俊也 記)



登録はお済みですか？

『Do歯メール配信』\\ 会員募集中 //

『Do歯メールマガジン』に登録はお済みですか？現在の登録者数は1,100名を超えており、無料で登録ができます。
会員の皆様に今すぐ知っていただきたい、速報ニュースを配信することもございますので、ぜひ登録を!!また、カラー写真やカラー文字を取れ入れて、見やすくポップに作成することを心掛けて配信しています。
なお、登録の際は、① 所属郡市区歯会 ② 氏名(ふりがな)③ 生年月日 ④ 開業医院名または勤務先 ⑤ TEL ⑥ FAX ⑦ Eメールアドレスを下記問い合わせ先にFAXまたはE-mailでお申込みください。

毎月下旬に発行
・日常の臨床に役立つ情報
・道歯各会議の報告

号外も発行
・道歯主催の研修会告知
・お楽しみ情報
・緊急性を要するニュース

バックナンバー発行
・道歯 会員ホームページ (http://doushi.net/member/) にアクセスし、指定のIDとパスワードでログインすると、『Do歯メール配信』のバックナンバーをみることができます。

【お問合せ・連絡先】 TEL 011-231-0945 FAX 011-271-7514
北海道歯科医師会 事務局 広報担当 E-mail d-haisin@doushi.net